

学術報告

重松 久幹(8期生)

今年度第4回の臨床スキルアップセミナーが、令和2年1月23日、福岡県歯科医師会館5階視聴覚室にて「歯科医師、歯科衛生士がともに輝けるように」をテーマに開催いたしました。今回のセミナーは、4名の講師の方々をお願いいたしました。

「周術期における歯科衛生士の関わり」というテーマで久留米大病院 歯科口腔医療センター 歯科衛生士 高山あゆみ先生に講演していただき、「歯科医師と歯科衛生士、それぞれの視点から見たマイクロスコープ歯科治療」というテーマで、あおき歯科クリニック院長の青木隆宜先生、あおき歯科クリニック勤務の歯科衛生士 坂本歩美先生にそれぞれの立場から講演していただきました。

サンメデイカル株式会社学術部 大阪歯科大学大学院医療保健学研究所口腔科学専攻 歯科衛生士 久保田順子先生には、「歯科材料の知識を活用したアシスタントワーク 歯科医師とのよりよい関係を構築するために」と題して講演していただきました。会場には、聴講する多くの若い歯科医師、歯科衛生士の熱心な姿が目につきました。



同窓生からの年紙

同窓会会長 吉永修

吉永修(4期生)

第17期同窓会会長に当選しました熊本県の吉永修です。もとより浅学非才の身ではございますが、広く皆様方の声に謙虚に耳を傾け、学園を支えて行けたらと思います。そして、水田祥代理事長が目指しておられる「学生が意欲を持って学び、卒業生が誇れる母校」の環境づくりのお手伝いをさせていただきます。と思っています。

私が考えます同窓会会務執行の基本方針は宮口厳前会長が、約二十年かけて営々と築き上げられました現執行方針の踏襲が根幹であります。私も宮口執行部の一員として、その末席を汚して参りました。宮口会長の手腕は、余人を以って代えがたく、その功績は誰もが認めるものであります。その足下にも及ばないことは重々承知しておりますが、その流れを継承し、少しでも前進して参りたいと考えています。ご協力よろしく申し上げます。



ずっと繋がる福歯大の輪

荒金 慶子(27期生)

27期卒業の旧姓毛利と申します。卒業後10年目の2014年に実家の医院から独立し、大分県豊後大野市に「つばさ歯科」を開業しました。見知らぬ土地で二人、3人息子を育てながらの開業は苦労の連続でしたが、家族、明るく気の利くスタッフ、温かい患者さんにも支えられ、今年の5月には6周年を迎えます。

開業後は様々な勉強会にお世話になりましたが、どこへ行っても大学時代お世話になった先輩方に再会し、導いて頂いております。福歯大の卒業生は本当に(卒業後は)勉強熱心でハートの熱い先生が多いし何より同窓生がものすごく仲がいいよねと、他大学卒の先生方から言つて頂ける事を私も嬉しく感じます。野球部、MA、陶芸部と在籍した私ですが、学生時代の良き出会いに感謝で一杯です。

最近ではCOVID-19の猛威により飛沫感染の最前線にいる歯科医院は診療するにも戦々恐々たる思いであります。ウイルスに負けずパワフルに研鑽を積み進めたいと思います。



クリニックからこんにちは!

卒業生 NOW

私の中の羅針盤

田代 剛(26期生)

こんにちは。福岡歯科大学26期生の田代 剛です。

今から9年前、卒業6年ほどたち、同期の中でも開業したり自分の道をそれぞれ歩み出したころ、同期の青木隆宜くん呼びかけでスタディーグループ「歯達会(しだちかい)」を立ち上げました。学生の頃よりお世話になっていた生体構造学講座病態構造学分野の岡村和彦准教授を顧問に迎え、大病院での専門科・所属するスタディーグループ・得意分野も様々で、それぞれいろいろな道を歩んできた面々が集まり、2ヶ月に1度例会を行っています。同期で気が知れた仲間ということもあり、遠慮無く忌憚ない意見が飛び交い、毎回熱いディスカッションが繰り広げられ、例会後には臨床の話から経営、家庭の話まで語り合っています。

3年前からそれぞれの医院から代表のスタッフが発表するスタッフミーティングを開催し、スタッフを巻き込んで交流し切磋琢磨しています。

近年、日進月歩の歯科医療の情報の多さにどちらを向いたらいいのか、どう進んでいけばいいのか戸惑うばかりです。同期がそれぞれ学んできたことを共有し議論し高め合うこの絆が、私の羅針盤となっています。

